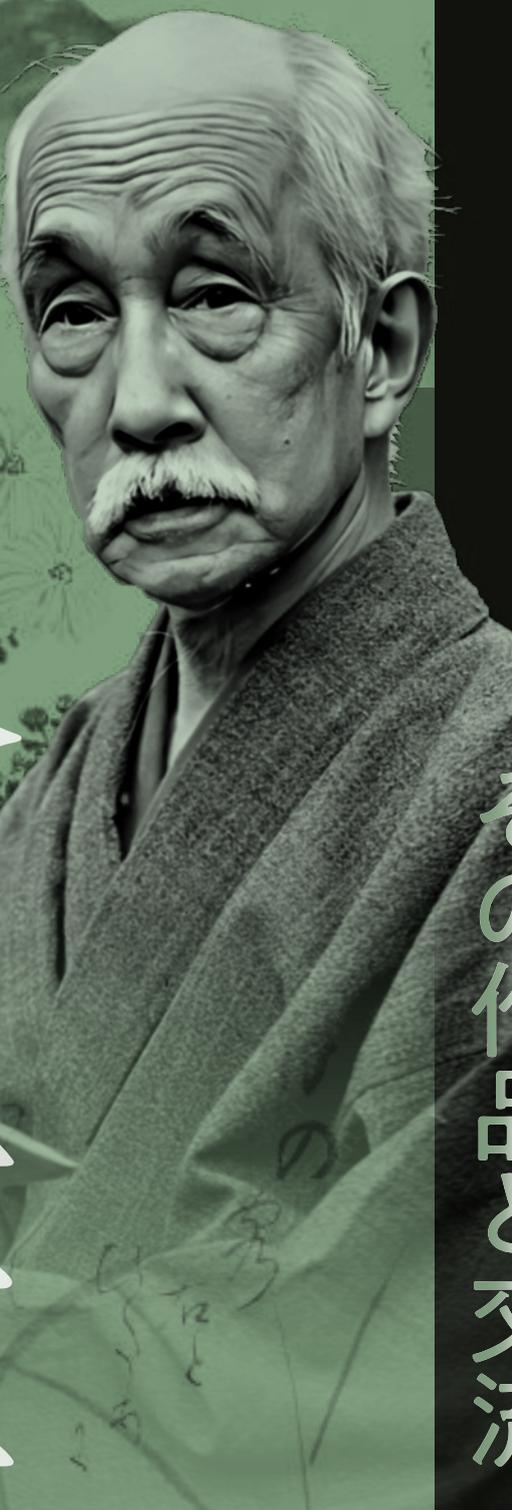


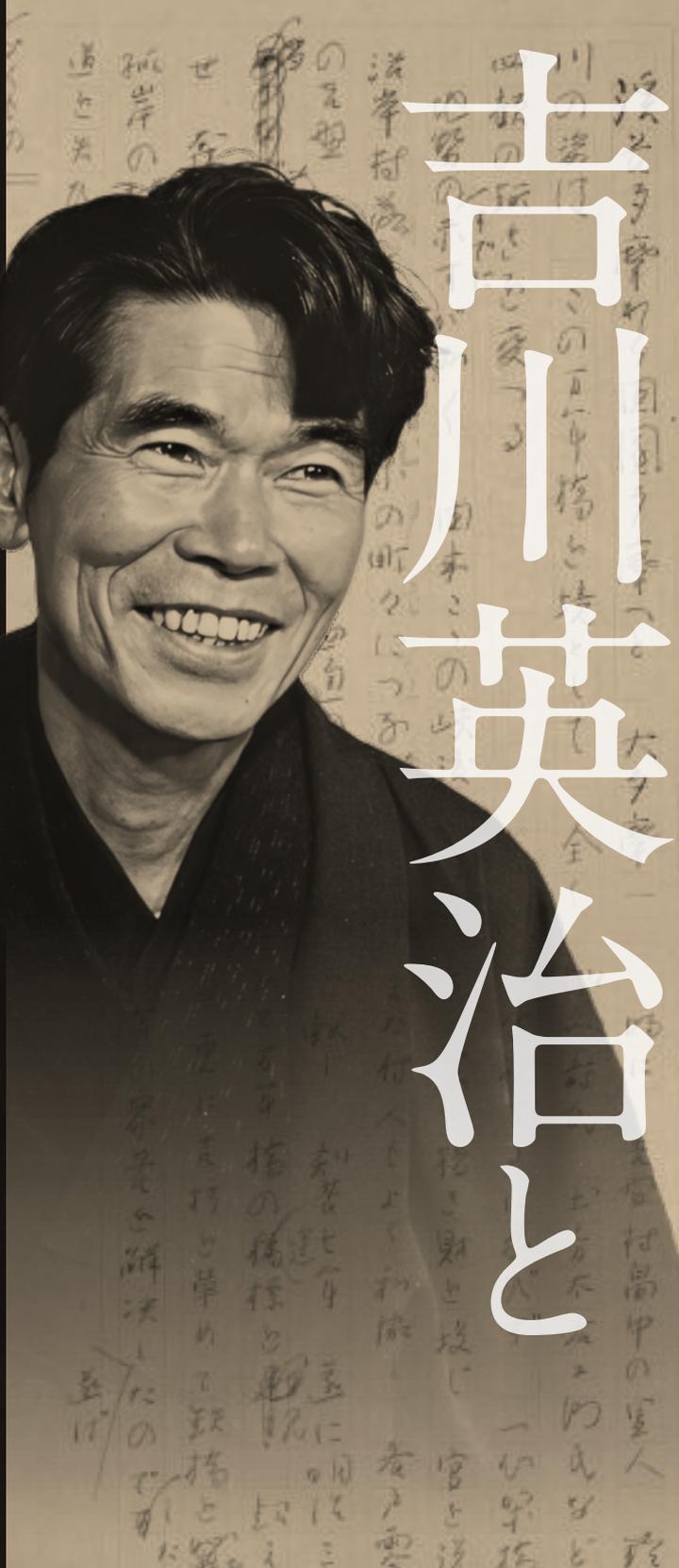
秋季展示

川合玉堂



—その作品と交流

吉川英治と



玉堂美術館 提供

公益財団法人 吉川英治国民文化振興会 提供

2023年 10月7日(土) ▶ 12月17日(日)

〔開館時間〕 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌平日) 10月9日(月)は開館し、翌10日(火)は休館

〔観覧料〕 大人500円(400円)／小・中学生200円(150円) 〔年間パスポート〕 大人1,400円／小・中学生500円

※( )内は20名以上の団体割引料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は手帳の提示で無料 ※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日無料

主催: 青梅市・青梅市教育委員会 協力: 玉堂美術館 青梅信用金庫 指定管理者: 株式会社フクシ・エンタープライズ

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum

〒198-0064 東京都青梅市柚木町1-101-1 TEL:0428-74-9477 <http://ome-yoshikawaeiji.net/>



# 吉川英治と川合玉堂—その作品と交流



①

青梅市の名誉市民である吉川英治と川合玉堂は、同時期に疎開先として吉川英治は吉野村(現袖木町)に、川合玉堂は御岳に居を構えました。

本展示では両氏が青梅で暮らしていた時期に焦点を当て、その頃の直筆原稿や作品、2人の交流の深さがうかがえる合作や書簡など初公開資料を加え紹介します。

また、地域の関わりの様子を記した資料や写真も紹介し、両氏が深く青梅に関わっていた様子を垣間見ます。



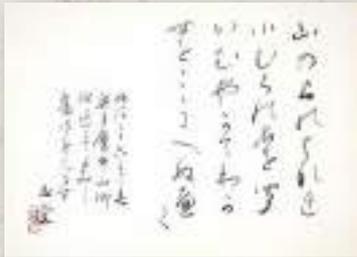
③



②



川合玉堂画伯を自宅に招いて 昭和24(1949)年



④



⑥



⑤

- ①色紙「神思堂」 吉川英治 作
- ②掛軸「瓶子」 賛 吉川英治 画 川合玉堂
- ③掛軸「月の客」 川合玉堂 作

- ④額装「山の上」 川合玉堂 作
- ⑤書簡 川合玉堂から吉川英治宛て
- ⑥三味線皮「鳥の図」 賛 吉川英治 画 川合玉堂

## 【期間中のイベント】

**菊地玉雲の講談の世界**  
**新・平家物語 第三話「ほげんの巻」**  
 10月15日⑩14時~14時30分  
 事前申込制  
 定員:30名 参加費:無料

**市民講座**  
 主屋等が国の登録有形文化財となったことを記念して、市民講座を開催します。  
 10月22日⑩ 午前10時~正午  
 内容:記念館の魅力について  
 講師:河東 義之氏  
 10月29日⑩ 午前10時~正午  
 内容:吉野村での吉川英治について  
 講師:廣田 春彦 氏  
 定員:20名 参加費:無料  
 両日とも、ガイドボランティア養成講座と同時開催です。

**記念館で読書案内 ~秋の読書週間編~**  
 10月29日⑩13:00~14:00  
 青梅市図書館スタッフが「出張おはなし会」などをおこないます。  
 定員:30名 参加費:無料

**秋のライトアップ&夜間開館**  
 11月11日④~26日⑩  
 期間中、記念館内の庭園をライトアップします。  
 11月11日④・17日⑤・18日⑥・23日⑦⑧・24日⑨・25日⑩は開館時間を20:00まで延長します。

**岩下尚史氏とめぐる近代の名建築**  
 日本を代表する建築家が設計した吉川英治記念館と玉堂美術館  
 11月23日⑦⑧10:30~14:00 事前申込制  
 テレビ番組でおなじみの青梅市在住作家・岩下尚史氏と共に吉川英治記念館と玉堂美術館を見学する昼食付きのバスツアーです。  
 定員:30名 参加費:6,000円



青梅市吉川英治記念館  
 ×  
 玉堂美術館  
 展示会記念コラボートバック

本展示会に展示されている作品をプリントしたオリジナルトートバックです。  
 青梅市吉川英治記念館と玉堂美術館で販売します。※売り切れ次第終了

青梅市  
**吉川英治記念館**  
 Yoshikawa Eiji Memorial Museum

- JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分
- JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統「吉野行」乗車⇒「袖木」停留所下車徒歩約1分

